

# 兵庫県保険医協会 姫路・西播支部ニュース

No. 313 2026年1月25日



発行 兵庫県保険医協会姫路・西播支部 支部長 高森信岳

連絡先 〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31 神戸フコク生命海岸通ビル5F

兵庫県保険医協会 TEL/078-393-1801 FAX/078-393-1802

新年のごあいさつ

## お金の心配なく医療を

## 受けられる社会に



姫路・西播支部長  
室井メディカルオフィス院長  
高森信岳

兵庫県保険医協会姫路・西播支部の会員の皆様、明けましておめでとうございます。

協会活動にご協力、ご賛同の程ありがとうございました。今年も宜しく願いいたします。

昨年は医療機関経営の厳しさが、マスコミなどにも大きく取り上げられ、国民の関心とあわせ、身近な医療機関がなくなるかもしれないという不安も高まった年でした。

診療報酬大幅引き上げを求めた私たちの運動により今年の診療報酬改定はプラス改定とされていますが、本体3.09%の引き上げでは物価高騰に到底追い付かず、私たちの経営にとってプラスとなることはあまり期待できなさそうです。

それどころか、政府は「医療費抑制」の名目で高額療養費制度の改悪、処方薬への一部負担金追加など、次々と患者負担増を計画しています。お金の心配なく安心して医療にかかれる制度へ充実させることこそ必要だと感じております。

今年も支部では、会員各位のご意見をお聞きしながら、審査対策研究会、医院経営研究会、医療安全管理研修会、接遇研修会など様々な企画を行う予定です。その他、西播社保協の自治体キャラバン等を通じて、地域の社会保障制度の充実も求めていきたいと思っております。

皆さまにとって、また日本の医療、介護等にとっても良い年であることを願っております。

## 子どもの発達障害 まずは知ることから

姫路市・はりまこどものこころ診療所 三木 崇弘先生

子どもの発達障害が注目を集める中、児童精神科を2025年4月に姫路市で開業した三木崇弘先生。医業の他、漫画・ドラマ「リエゾン」の監修等で子どもの発達障害についての知識やどうサポートするかを伝える活動にも尽力されている。三木先生が目指す医療や、姫路・西播地域の地域医療の課題について高森信岳支部長がインタビューした。全文は兵庫保険医新聞1/5号に掲載、ホームページからもご覧いただける（右のQRコードからアクセス）。



▲全文はこちら

### 地方で叶える夢と使命

**三木** 姫路市内の高校を卒業し愛媛大学に進学しました。愛媛県内の病院や国立成育医療研究センターでの勤務ののち3年ほど学校医や児童相談所での勤務、東京でスクールカウンセラーも経験しました。

もともと都市部で学んで地方に還元したいという考えがあったので、いつかは戻ってくるつもりでした。先輩方から言われていましたが精神科の点数の単価は低いです。患者さんとじっくり話したいけれど時間を確保するのが大変です。

**高森** 最近では、自閉スペクトラム症（ASD）、注意欠如・多動症（ADHD）が耳慣れたワードになり親御さんの関心も高まっていますね。

**三木** そうですね。発達障害によって現れる特性である、得意と不得意の差が大きい、いわゆる「凸凹（でこぼこ）」に気が付くきっかけはさまざまですが、大きな音が苦手、文字を認識するのが苦手などの「困りごと」はイヤーマフやタブレット端末を使うなど早めに解決することが重要です。

ただ、患者さんの中には虐待やネグレクトが原因で発達障害と似た症状が出ているケースもあります。私は診察室でしか会えませんが、学校や家庭などどういった環境にいるのか、どうしたらいい環境で過ごせるのか、社会全体で考えないといけないと思います。

**高森** 児童精神科医だけでなく、さまざまな角度からのサポートが求められていますね。

**三木** そうなんです。また、先生方には、発達障害は特別なものと思わず、「変わった子」の人生相談に乗るくらいの気持ちで、ためらわず向き合ってほしいです。

### 地域医療を守るのは行政の役割

**三木** 神戸などの都市部と異なり、地方では医師をはじめとする専門家が少なく、人材確保も大変です。これで果たしてこの地域の医療を守れるのでしょうか？ 医療など必要なものは行政が担保しないと、経済合理性を求めた瞬間に困っている人のところに医療が届かなくなるじゃないですか。丁寧に診療するほどマイナス経営になるというのも大きな問題です。

（3面に続く）



診療所にて三木先生（写真・右）と高森支部長

（2面からの続き）

**高森** その通りですね。協会としても、診療報酬の大幅引き上げや患者負担軽減などを国に求めています。

**三木** 心強い取り組みです。

### 「リエゾン」が広げた発達障害の知識

**高森** 児童精神科をテーマとし、ドラマ化もされた漫画「リエゾン」の医療監修をされていますが、どういった経過だったのでしょうか。

**三木** 友人の漫画家さんから、講談社が児童精神科医を監修者として探していると、声をかけていただいたんです。面白そうだったので即答で引き受けました。ただ、取材は徹底してほしいと伝え、いただいたシナリオ原稿を「自閉スペクトラム症の6歳の子はこんなこと言わない」などと真っ赤にして返していました（笑）。でも編集部が「エンタメでも嘘をつきたくない」という方針を徹底してくれたので、とてもリアルな作品になっていると思います。

**高森** 子どもの「困りごと」を理解し、支えることの重要性がよく分かりました。ありがとうございました。

## 健康情報テレホンサービス



通話料無料 固定電話からは **0120-979-451**

携帯電話からは **078-393-1824**

★24時間いつでも3分間程度の開業医の手作りの健康・医療情報を放送しています。

★インターネットでもご覧いただけます。過去の放送分もキーワードで検索できます。URLは、<http://www.hhk.jp/kenko-telservice/>

#### 【2026年2月のテーマ】

月曜日 子宮がん検診のすすめ  
火曜日 医療機関の経営を支えるのは政府の役割  
水曜日 不整脈と言われたら  
木曜日 急性膵炎と慢性膵炎  
金土日 貨幣状湿疹

#### 【2026年3月のテーマ】

月曜日 夜尿症  
火曜日 高齢者の低栄養について  
水曜日 女性の外陰部のかゆみと治療  
木曜日 後鼻漏  
金土日 狭心症と心筋梗塞

※祝日は直前の放送日のテーマを放送します。

## 支部ニュースへぜひご投稿ください！

日常診療のことや、医科・歯科連携などテーマは自由です。

ぜひご投稿ください。

お問い合わせは Tel:078-393-1807

投稿は Fax:078-393-1820 または E-mail: arimoto@doc-net.or.jp 担当：有本まで

兵庫県保険医協会 姫路・西播支部 会員懇談会

# 日常診療・医院経営で 知っておきたい法律知識

日時 2月26日(木) 15時～16時30分

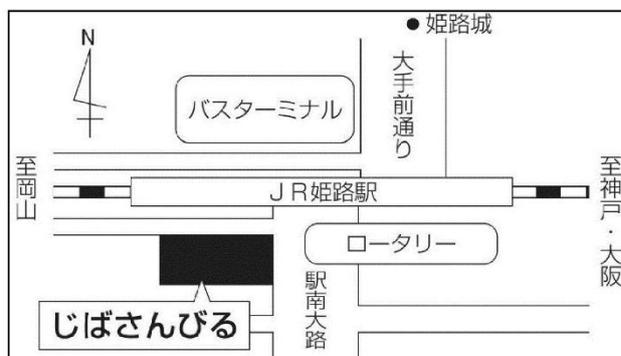
会場 姫路市地場産業センター（じばさんびる）603会議室+ZOOM

講師 坂本 知可 弁護士（神戸花くま法律事務所）

参加費 無料

クレーム対応と応召義務、ネットのロコミ対応、雇用関係のトラブルなど、医療機関の診療や経営においてはさまざまな問題に遭遇する可能性があります。

支部では、協会「保険診療法制研究会」に参加し、『医師・歯科医師のための知っておきたい法律知識』のご執筆にも参加された坂本弁護士をお招きし、医療機関で日常的に起こりうるトラブルについて、法律を踏まえた対応のポイントを解説いただきます。



姫路市南駅前町 123 番地、JR 姫路駅南口から徒歩 2 分

お問い合わせは、兵庫県保険医協会 TEL:078-393-1807（担当：有本）まで

**【来場参加申し込み】** 下記をご記入の上、FAX(078-393-1820)送信してください。

市町	医療機関名		
お名前	参加人数	電話番号	
	人		
当日聞きたいトピックや質問事項がありましたらお寄せください			

**【ZOOM 参加申し込み】**

下記リンクまたは右 QR コードからお申し込みください。

<https://bit.ly/3Y8kkTv>

